

口は健康のもと Vol.159

全身麻酔での歯科治療 年々、増える傾向

「みんなと同じように
歯の治療が受けられない...」
「全身麻酔での歯科治療が受けられたら...」

**そんな事でお困りのときは
私たちが支援します！**



イラスト:えんたゆきよ
(当院の患者さんです)

聞き分けのないお子さんや、治療に対する理解力が足りない知的障害などの患者さんの中には、治療に対する拒否が強く、診療室にさえ入れない場合があります。仮に入室できても、口を開けてくれなければ歯科治療をすることができません。そのような場合、昔は体を押さえつけて無理やりに歯科治療を行っていました。しかし、そのように押さえつけて行う治療では、まれに窒息やショックなどの事故が起こることがあります。また仮に治療できたとしても、押さえつけられた恐怖心で、その後歯科医院に全く寄りつかなくなったりする要因になり、そのため口の中は虫歯や歯周病が放置された状態に陥ることもあります。

現在は、体を押さえつけて治療するよりも、全身麻酔で治療した方が円滑で安全な時代になりました。当院でもそのような全身麻酔下の歯科治療は年々増加傾向にあり、現在年間600件程度の全身麻酔下の歯科治療を行っています。

お孫さんやお知り合いで、どうしても通常の歯科治療ができない方がいらっしゃいましたら、最寄りの病院歯科にお問い合わせ下さい。

奥羽大学歯学部附属病院
歯科麻酔科 教授 山崎 信也

